

名古屋市農業文化園・戸田川緑地の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	チームYMO		
主な業務内容	農業文化園・戸田川緑地の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市港区春田野二丁目3204		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和9年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置	○	地域や教育機関、企業等との連携を積極的に図り、地域とのつながりを広げながら様々な取り組みを実施した。
		緊急時の体制	○	
		人材育成等	○	
	2 協働	市民等との協働	◎	
維持・管理 運営等	1 維持管理	園内清掃	○	戸田川緑地の魅力の一つである芝生広場の芝刈の回数を増やし、利用者が快適に過ごせるよう努めた。 クビアカツヤカミキリの調査や駆除などの被害拡大防止に努め、来園者への啓発も標本展示やポスター掲示など積極的に実施した。
		建物・設備の管理	○	
		保守・点検・修繕	○	
		植物管理	◎	
		管理水準の維持	○	
		関係書類の調製・保管	○	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	アンケートで要望の多かった内容について、利用者ニーズに応える講習会やイベントを開催した。 個人情報の漏洩事案が発生したが、原因究明や業務の見直しを図り、再発防止に努めた。
		利用者ニーズの把握と反映	◎	
		利用者サービス向上策	○	
		接客・接客向上の取り組み	○	
		苦情・要望に対する適切な処理	○	
		個人情報の適切な管理	△	
	3 この施設特有の管理	「農」に関する取り組み	◎	学校を対象とした野菜栽培の普及啓発や職場体験の受入れ、3農業公園、とだがわこどもランドとの連携による食育講座の実施等、「農」に関する取り組みを行った。
		めざす公園像への取り組み	○	
		西の森づくり地区の運営	○	
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○	
		イベント等の実施	○	
		講習会等の実施	◎	
		利用者への広報・情報提供の実施	○	
		利用者数の増加	○	
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	○	
		関係書類の調製・保管	○	
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	
		集客対策への効果	○	
		自主事業の収支及び還元	○	
		便益施設の管理運営	○	
収支	1 収支	経費節減策	○	支出超過となった。
		年間収支	△	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

【評価点】

地域・企業と積極的につながりを持ち、様々な協働の取り組みを行った。農への取り組みについては、陽だまり館への出店農家を増やすなど、農家との連携、農業振興に努めた。また、来園者の要望を取り入れ、新規イベントや講習会を開催するなど工夫が見られた。維持管理においては、クビアカツヤカミキリの対策に尽力し、来園者への周知や啓発も積極的に行った。

【改善点】

個人情報の漏洩事案では早急に改善策を講じたが、引き続き再発防止に努め、事業を行ってほしい。また、広報・PRをさらに充実させ、戸田川緑地の特色や魅力を発信し、来園者数の増加を目指してほしい。

施設の現状

名古屋市農業文化園・戸田川緑地

施設 の 現 状	施設概要							
	農業文化園は市内随一の農業地域である港区に位置し、農業の歴史や技術を学び、花や緑を楽しむことのできる農業公園です。都市農業に関する知識及び技術の普及啓発を行うとともに、市民に花とみどりに包まれたレクリエーション活動の場の提供を目的とした施設で、農業科学館やフラワーセンターでの展示会、農業や草花の体験教室、野菜の収穫体験などを行っています。 また、隣接する戸田川緑地は「健康とスポーツの里」を全体テーマに、戸田川に沿って整備が行われている総合公園です。とだがわの森や花の丘など四季を通して豊かな自然にふれることができる場所が多くあり、家族で楽しめる様々なレクリエーション施設が設けられています。 農業文化園・戸田川緑地が一体となって、季節に応じた年5回(5月・6月・10月・11月・3月)の催事も行っており、多くの市民に親しまれています。							
	市の収支状況(千円)（7年度決算(見込)額）							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	212,466	0	212,466	5,080	0	207,386	212,466	-
	特記事項							
	管理 運 営 指 標 の 状 況	取組状況						
指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
入園者数(戸田川緑地含む)		人	975,752	930,829	914,509	913,396		
農業科学館展示室及びフラワーセンター入館者数		人	140,419	143,140	132,248	147,958		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市農業文化園・戸田川緑地における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者	チームYMO		
主な業務内容	名古屋市農業文化園・戸田川緑地の管理運営業務		
評価対象期間	令和5年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和9年3月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目		評価区分			特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	5年度	6年度	7年度	【R5】企業との連携による環境への取り組みを新たに実施した。 【R6】企業との連携による環境への取り組みを新たに実施した。 【R7】地域や教育機関、企業等との連携を積極的に図り、地域とのつながりを広げながら様々な取り組みを実施した。
	職員配置	○	○	○	
	緊急時の体制	○	○	○	
	人材育成等	○	○	○	
	2 協働	5年度	6年度	7年度	
維持・管理運営等	市民等との協働	◎	◎	◎	【R6】クビアカツヤカミキリの防除に努め、来園者への啓発も積極的に実施した。いたずらが繰り返された場所へカメラを設置し犯罪防止に努めた。 【R7】戸田川緑地の魅力の一つである芝生広場の芝刈の回数を増やし、利用者が快適に過ごせるよう努めた。クビアカツヤカミキリの調査や駆除などの被害拡大防止に努め、来園者への啓発も標本展示やポスター掲示など積極的に実施した。 【R7】アンケートで要望の多かった内容について、利用者ニーズに応える講習会やイベントを開催した。個人情報の漏洩事案が発生したが、原因究明や業務の見直しを図り、再発防止に努めた。
	1 維持管理	5年度	6年度	7年度	
	園内清掃	○	○	○	
	建物・設備の管理	○	○	○	
	保守・点検・修繕	○	○	○	
	植物管理	○	◎	◎	
	管理水準の維持	○	○	○	
	関係書類の調製・保管	○	○	○	
	2 運営管理	5年度	6年度	7年度	
	利用者アンケートの実施	○	○	○	
	利用者ニーズの把握と反映	○	○	◎	
	利用者サービス向上策	○	○	○	
	接客・接客向上の取組み	○	○	○	
	苦情・要望に対する適切な処理	○	○	○	
	個人情報の適切な管理	○	○	△	
	3 この施設特有の管理	5年度	6年度	7年度	
	「農」に関する取組み	◎	◎	◎	
	めざす公園像への取組み	○	○	○	
	西の森づくり地区の運営	○	○	○	
	4 魅力増進・利用促進	5年度	6年度	7年度	
	魅力の増進策	○	○	○	
	イベント等の実施	○	○	○	
	講習会等の実施	○	◎	◎	
	利用者への広報・情報提供の実施	○	◎	○	
	利用者数の増加	○	○	○	
	5 収納金の処理業務	5年度	6年度	7年度	
	現金等の取扱い	○	○	○	
	関係書類の調製・保管	○	○	○	
自主事業	1 自主事業	5年度	6年度	7年度	
	事業計画に基づく自主事業の実施	○	○	○	
	集客対策への効果	○	○	○	
	自主事業の収支及び還元	○	○	○	
	便益施設の管理運営	○	○	○	
収支	1 収支	5年度	6年度	7年度	【R5】収益還元により環境整備がなされた。 【R7】支出超過となった。
	経費節減策	○	○	○	
	年間収支	◎	○	△	
その他	1 その他	5年度	6年度	7年度	
	法令・協定の遵守	○	○	○	
	事業計画との比較分析	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
令和5年度	【評価点】 広大な緑地を活かしたさまざまな協働・連携の取り組みを実施した。特に農の普及については、来園者ニーズを把握しながら新たなメニューを追加するなどの取り組みが実施された。また、収益還元による環境整備が実施された。 【改善点】 アンケート結果をしっかりと分析したうえで、より良い施設管理・植物管理に活かすよう努めていただきたい。
令和6年度	【評価点】 市民協働や企業との連携などを積極的に行い、新しい取り組みも行っていた。また、広報やPRにも力を入れ、公園の魅力向上や情報発信に努めていた。維持管理においては、クビアカツヤカミキリ等の外来生物への対応について、駆除や来園者への啓発などに尽力していた。 【改善点】 夏の酷暑期など来園者が減る中で様々な対策を行っているものの、来園者が前年度を下回っているため、更なる魅力向上に取り組み、来園者数の増加を目指してほしい。
令和7年度	【評価点】 地域・企業と積極的につながりを持ち、様々な協働の取り組みを行った。農の取り組みについては、陽だまり館への出店農家を増やすなど、農家との連携、農業振興に努めた。また、来園者の要望を取り入れ、新規イベントや講習会を開催するなど工夫が見られた。維持管理においては、クビアカツヤカミキリの対策に尽力し、来園者への周知や啓発も積極的に行った。 【改善点】 個人情報の漏洩事案では早急に改善策を講じたが、引き続き再発防止に努め、事業を行ってほしい。また、広報・PRをさらに充実させ、戸田川緑地の特色や魅力を発信し、来園者数の増加を目指してほしい。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
指定期間を通して、本施設特有の「農」に関する様々な講習会やイベントを実施した。花の丘においてはフォトスポットとなるよう美しい花壇づくりに努め、見どころの創出に取り組んだ。 入園者数 令和5年度：930,829人 令和6年度：914,509人 令和7年度：913,396人

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
自主事業による収益還元においては還元額の確保に努め、環境整備がなされた。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
年2回のイベント時や講習会開催時に実施しているアンケートでは、平均で9割以上の方から「満足」との回答を得ており、利用者満足度が高い。アンケート結果を分析し、園内管理や講習会などに取り入れることで利用者要望に積極的に対応した。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
多様な主体と協働・連携を図りながら、様々な充実した取り組みを行い、特に農業公園としての役割である、農の情報発信、振興支援に貢献した。また、来園者のニーズに応え、毎年新しいイベントや講習会を実施するなど、工夫しながら運営を行った。施設を適切に維持管理し、自主事業により一定の収益還元をしていたことも評価できる。 一方、SNSなどを活用し、広報やPRに力を入れているものの、来園者数が目標人数に達していない状況にあるため、今後、更なる公園の魅力向上や情報発信に取り組んでいただきたい。